主の祈り

天にいます私たちの父よ。
御名が聖なるものとされますように。御国が来ますように。
みこころが天で行われるように､地でも行われますように。
私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。
私たちの負い目をお赦しください。
私たちも､私たちに負い目のある人たちを赦します。
私たちを試みにあわせないで、悪からお救いください。
国とちからと栄えは、とこしえにあなたのものだからです。　アーメン

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女（おとめ）マリヤより生まれ、
ポンテオピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、
陰府（よみ）にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
身体のよみがえり、永遠（とこしえ）の生命を信ず。アーメン

定期集会の案内

★教会学校（子どもの分球）　日曜日午前９時30分～１０時
★主日礼拝　　日曜日午前１０時３０分～１２時
★主日夕礼拝　　日曜日午後１９時３０分～２０時３０分
★入門クラス　　随時
★聖書研究祈禱会　水曜日午前１０時～１２時
午後　７時３０分～９時（ご希望によって）
★その他の相談（要予約）

キリスト教ラジオ番組のご案内

ラジオ「世の光」ラジオ福島　日曜日　朝７時15分
教会のホームページ https://fukushima-baptist.jp-church.com/
教会のメールアドレス　fukushima70bc@gmail.com

週報

Vol. 72 No. 31　　2026年11月1日



保守バプテスト同盟
福島バプテスト教会
牧師　髙橋治男
〒960-8132　福島市東浜町４番３号
電話 024(534)3612　FAX 024(563)1777

主日礼拝式次第

開　式　１０時３０分
司　式　高橋治男牧師

前　奏	（黙　禱）BWV 720	
招　詞	イザヤ書43章1節	司式者
交　読	詩篇31篇（再）	
†讃　美	**５４**（愛と恵み）	
教会祈禱		司式者
主の祈り	（週報に記載）	
†讃　美	**２０９**（聖書の歌）	
使徒信条		
聖書朗読	マルコの福音書８章1～10節	司式者
宣　教	「四千人の給食の奇跡」	牧　師
†讃　美	**３１９**（悔い改めと赦し）	
聖　餐	**式辞・聖書・招き・祈禱・分餐**	
感謝祈禱		出雲紀代姉
献　金	**２６６**	
†頌　栄	**２６９**	
†祝　禱		牧　師
†後　奏	（黙　禱）277	
歓迎・報告・証し		

礼拝当番		本　日	８　日	１５日	２２日	**会堂清掃**
	司　式	牧　師	牧　師	牧師	奥田兄	祈祷会参加者によって
	奏　楽					
	感　謝	出雲姉	佐久間姉	佐原姉	恵美子姉	**ＰＡ担当**
	ＰＣ	富雄兄	富雄兄	富雄兄	富雄兄	富雄兄

２０２６年度のみことば

見よ、わたしは新しいことを行う。
今、それが芽生えている。

イザヤ書４３章１９節

報　告

○皆さんといっしょに礼拝をお献げできることを感謝します。
○本日は１１月の第一主日の礼拝でしたので、主の晩餐にあずかりました。
○先主日行われました執事役員会の報告書ができました。９月分の会計報告とともに週報棚にお配りいたしました。どうぞご確認ください。教会の課題を読み取っていただき、お祈りにお加えください。
○１１月２９日は今年度３回目の伝道礼拝になります。チラシとトラクトを用意いたしました。ご近所やお知り合いの方々にお渡しください。
○来主日の予定
　愛餐の時をもちます。
○来信のお知らせ
　医療宣教の冨岡先生からメール（配布）

祈　り
○主を求める方（求道者）が起こされるように。
○子どもたちへの伝道のために。
○奏楽者が与えられるように。
○礼拝後（外）の交わりが祝福されるよう。

◇今週の祈りの課題◇

日	霊的成長／飯塚修平兄	**木**	信教の自由／佐久間慶子姉
月	伝道・超教派／出雲紀代姉	**金**	病弱者、求道者／佐原冨美子姉
火	青少年伝道／菅野祐司兄	**土**	牧師・執事／出射孝康兄
水	海外宣教・同盟（首都圏の諸教会）／今野美代子姉		

今週の聖句

まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

マタイの福音書６章33節

来主日の宣教予定（8日）

聖　書：マルコの福音書８章11～21節
宣　教：「まだ悟らない弟子たち」
讃美歌：２５（愛と恵み）、２９８（神の招き）、３９３（信頼と服従）

前奏曲について　BWV 720「神はわが堅き砦」
１０月３１日は宗教改革記念日でした。
「恩寵のみ」「聖書のみ」「信仰のみ」

礼拝の心得

・礼拝前はなるべく挨拶程度にとどめましょう。
・黙祷をしつつ礼拝に備えましょう。
・奏楽の音量が大きくなり、礼拝司式者が立ちましたら開始です。
・礼拝後は、お互い声を掛け合い主にあるお交わりをもちましょう。